



やるき  
ほんき  
き  
さ  
き

# 木佐木

神奈川県議員  
日本共産党

2024.1.25  
木佐木ただまさ news  
発行：党横浜北東地区委員会  
横浜市鶴見区潮田 3-147-6  
TEL：045-511-1021

Profile  
▶1984年山口県出身  
▶鶴見区馬場在住  
▶神奈川大学法学部卒  
▶よこはま健康友の会会長  
▶横浜東民商顧問

## 現場の声を集めて政治を変える

高額な人材紹介料が医療機関を苦しめている



田村智子・志位和夫・小池晃各議員秘書と畑野きみえさんとともに  
1/18 神奈川県保険医協会の新年会に大山県議団  
長とともに参加をしました。

保険医協会は、開業医の方を中心に組織されている  
団体で、この間マイナ保険証の問題点を鋭く指摘し  
てきました。政府が保険証廃止を決定しましたが、ま  
だ時間もありません。力を合わせて保険証の存続を強く  
求めていきたいと思っています。

県内のある地域の医師会からのあいさつで非常に  
共感したのは、医師看護師不足で人を募集してもな  
かなか集まらず、派遣会社を使わず得ない実態が医  
療機関を苦しめていることです。

人材派遣会社へ紹介料として年収の3割を支払う  
こともしばしばとのことで、看護師を雇用するため年  
収500万で募集すると、紹介料だけで150万かか  
ることになります。医療機関の報酬単価は、診療報  
酬という形で国が定めており、こうした予定外の支出  
はまったく考慮されていません。こうした状況を放置し  
てしまえばベッド代の高騰や医療機関の閉鎖などに  
つながりかねないと問題意識を持っています。改めて現  
場からの声をつかめたので改善に向けて知恵を絞り

たいと思います。

## 子どもの安全・保護者の安心 のためにも配置基準の改善を



白井正子横浜市議・市古次郎川崎市議とともに参加

1/20 神奈川県民間保育園協会の新春の集いに参加  
をしました。

この間、県議会としても保育労働者の処遇改善など  
の意見書を全会一致で国に挙げてきましたが、それと  
併せて人の配置を増やさなければ、事故を防ぐことも  
現場の疲弊を軽減することもできないと思います。4、  
5歳児は76年ぶりに基準が改定されましたが、0歳  
児3人を1人の保育士が、1、2歳児6人を1人の  
保育士が見なければならない状況です。

市町村で独自の手当をしていますが、国の姿勢が  
変わらなければ根本解決になりません。

この新春の集いには、若い男性保育士の姿もあり、  
やりがいやイキイキと語ってくれました。

次代の担い手である若者が、希望を持って働き続け  
られるよう県でもなすべきことを求めていきます。

